

月の舟通信

2015年11月 No.49

四九、きみこの魔法

十月三十一日から鹿児島県で国民文化祭が開催されます。「月の舟」は九つの講座・イベントを応援事業として登録しました。

いちばんの目玉は、十一月一日（日）古典の日になんで、「色で愉しむ源氏物語」と「香りで愉しむ源氏物語」の二本立て。今回は若くて美しい専門家（色彩とお香）の先生とコラボしての企画。めちやくちや楽しみです。

十一月十五日の向田邦子文学館の誕生日記念朗読会では、小説「思い出トランプ」で月の舟賞を競います。向田邦子文学散歩も久々に開催します。

十一月八日の午後は月下美人クラスを延期して、南九州市での国民文化祭「現代詩の祭典」に参加します。参加希望の方は「月の舟」までご一報ください。

国民文化祭が終わったら、井原慶一郎先生（鹿児島大学教授）に

よるディケンズ『クリスマス・キヤロル』の完訳刊行記念イベントを「月の舟」で開催します。メディア論の若手旗手おふたりと井原先生との鼎談、今からぞくぞくします。（詳細は裏面掲載）

きみことワインを 2015

また、十一月二十四日（火）午後七時から「天文館の夜ゼミ」と題して、鹿児島国際大学・小林潤司先生のゼミ生の皆様と月の舟のコラボで、あの又吉直樹さんの芥川賞小説『火花』を読みます。若者の新しい読みに期待！皆様も奮ってご参加を。

十二月五日（土）は、いよいよ第二回「月の舟」学園祭。今年も、鹿児島市中央公民館で午前十時から三時まで開催。午後五時から「月の舟」にて忘年会。

「月の舟」らしいハイレベルで楽しいプログラムが着々と組み立てられています。入場無料ですから、ぜひご家族やお友達もお誘いくださいませ。

最近、ある魔法を発見しました。それは「わたしって、凄い」と自己暗示にかける魔法。どんな小さなことでも「わたしって、天才」と自分に声掛けすると、元氣百倍。自分を肯定し、褒めまくっている、素直な気持ちになります。たとえば文章を書くときも「こんなじゃダメ」とダメ出しをしないで、素直に書いてみる。上手下手を考えない。すると身体に溜め込んでいた言葉たちが解放されて、気持ちが軽くなります。このきみこの魔法、ぜひお試しあれ！

「月の舟」はこんな魔法の成果か、着々と愛と笑いと癒しの空間になっていきます。仲間もどんどん増えていきます。年齢層も広がっています。感謝、感謝、感謝！

これからも「月の舟」を皆様とともに、創り上げていきたいものです。芸術の秋、月の舟の講座をじゃんじゃん受講して、人生を謳歌してくださいね。お待ちしています。（みたけきみこ）